

仕分け結果速報

事業名	母子保健事業		第1班				
			第8事業				
仕分けチームの結果							
評価結果			コーディネーター の評価結果	判定結果			
(1) 不要	①趣旨・目的に妥当性がなし	0	0	(1)	不要	0	人
	②達成手段としては不適當	0					
	③効果がない(薄い)または逆効果	0					
	④サービス受給者の自助努力・自己負担が適當	0					
	⑤他事業と重複(事業の統合)	0					
	⑥その他	0					
(2) 民間	①行政の役割終了	0	0	(2)	民間	0	人
	②サービス水準に違いがあるべき(あってよい)	0					
	③民間の方がより効果的・効率的にできる	0					
	④その他	0					
(3) 国、県、広域	①規模が全国的	0	0	(3)	国、県、広域	0	人
	②全国一律のサービスであるべき	0					
	③規模が県域的	0					
	④県下一律のサービスであるべき	0					
	⑤規模が広域的	0					
	⑥広域一律のサービスであるべき	0					
	⑦影響が広範囲	0					
	⑧その他	0					
(4) 寒川町 (要改善)	①事業内容の見直し	2	3	(4)	寒川町 (要改善)	3	人
	②事業規模の縮小	0					
	③自主財源確保の努力	0					
	④期限の設定	0					
	⑤事業の効率化	0					
	⑥委託	0					
	⑦市場化テスト	0					
	⑧その他	1					
(5) 寒川町 (現行どおり)	①拡充	0	2	(5)	寒川町 (現行どおり)	2	人
	②現行どおり	2					

コメント	コーディネーター(伊藤)		健診を受けていない家庭のフォローアップとその仕組みづくりが必要。
	【町(要改善)】 ①事業内容の見直し	海東	子育て、母子保健事業を総合的に把握することと、適切な政策を実施できる交通整理が必要なのではないか。工夫していただきたい。また、健診を受けていない人のケアをしていただきたい。
		山蔦	目標が健診率でよいのか。健康に産まれくる率の追跡が必要。母子家庭の多い寒川町で子供が産まれてくるまで、そして出産後の早い時期の母親への教育が大切ではないか。
	⑧その他	石田	子育て支援の最も早い入り口は、父親、母親教室だろう。父親、母親教室の参加率を60%、70%と上げていく積極的な努力、改善工夫を。
	【町(現状)】 ②現行どおり	露木	基本的には現行どおりとするが、課題等には、今後ともよりよい方向へ進むよう常に改善意識を持ってあたっていただきたい。
小栗		健診は医師の費用が9割以上であり、他事業も含め、事業費削減の余地がない。	